



Disability  
Rights  
California

California's protection & advocacy system  
Toll-Free (800) 776-5746

# 児童スクールからコミュニケーションサポートを受ける

---

2019年10月刊行番号 7150.15 - Japanese

## 1. コミュニケーションサポートとは、何ですか？

「コミュニケーションサポート」は、身障者のコミュニケーション支援が可能な装置またはサービスです。 コミュニケーションサポートは、**Augmentative and Alternative Communication (AAC)**（拡張・代替コミュニケーション）あるいは **Special Adaptive Equipment**（特別適応装置）と呼ばれることがあります。 特別教育システムでは、**Assistive Technology (AT)**（補助テクノロジー）と呼ばれることもよくあります。 コミュニケーションサポートの例としては以下が挙げられます。

- **JAWs** およびその他タイプのスクリーンリーダー
- **Dynavox and other Speech Generating Devices (SGDs)**  
(Dynavox およびその他言語生成装置)
- **PECs** およびその他の形態の写真ベースのコミュニケーションシステム
- 文字盤またはアルファベット盤
- 点字または大きな文字のドキュメント
- 手話通訳やコミュニケーションパートナーなどのサービス

## 2. 私には、学校を通じて、子どもにコミュニケーションサポートを受けさせる権利がありますか？

はい。お子さまが公立学校に通っている場合、コミュニケーションサポートは、子どもの **Individualized Education Program (IEP)**（個別教育プログラム）または**適応プラン (504 プラン)**により学校が提供するサービスに含めることができます。例えば、お子さまがことばに問題がなければ、学区に査定を依頼することができます。この査定の結果により、**IEP チーム**は、おこさまにコンピュータコミュニケーション装置などの補助テクノロジーが必要かを判断します。学校には、お子さまが効果的にその利用ができるようにトレーニングを提供する責任もあります。お子さまが私立学校に通っている場合、当該の学校は、学校全体の予算から考えて不当に高額ではないかぎり、適切な適応としてコミュニケーションサポートを提供しなければなりません。

### **3. 子どもが通っている学校が、子どもに必要なコミュニケーションサポートを提供してくれない場合は、どうしたらよいですか？**

お子さまが公立学校に通っている場合、**IEP 会議**に対し、当該の問題について話し、低式に解決を試みるように依頼することができます。補助テクノロジーがすでにお子さまの **IEP** 一部であり、学校がその提供をしていない場合は、法令遵守に関する苦情を申し立てる権利があります。補助テクノロジーがまだ **IEP** にはなく、あなたが希望しても、学校が同意しない場合は、デュープロセス公聴会の申し立てができます。

公立学校によるコミュニケーションサポート確保に関する詳細は、**Disability Rights California**（身障者の権利カリフォルニア）のファクトシート、『**お子さまの学校から補助テクノロジーの利用を受ける**』（<https://www.disabilityrightsca.org/publications/obtaining-assistive-technology-through-your-childs-school>）を参照してください。

公立または私立学校での効果的なコミュニケーションに関するお子さまの権利についての詳細は、**Disability Rights California**（身障者の権利カリフォルニア）『**公立と私立学校での身障者差別**』（<https://www.disabilityrightsca.org/publications/disability-discrimination-in-public-and-private-schools>）を参照してください。

**Disability Rights California**（身障者の権利カリフォルニア）は、**Communication Disabilities Access Network**（コミュニケーション障害アクセスネットワーク）プロジェクトの一部として、このファクトシートを準備しています。このプロジェクトは、コミュニケーションサポートを提唱するリーダーのネットワークを育成、トレーニングおよび始動することを目的としています。**Ability Central**（前 **Disability Communications Fund**（身障者コミュニケーション基金））の寄付により運営されています。**Ability Central**（アビリティセントラル）は、カリフォルニアの身障者のコミュニケーションとアクセスニーズに資するプログラムとテクノロジーをサポートしています。詳細は、下記サイトをご覧ください。 <http://dcfund.us/>